

昨年度に引き続き校長を仰せつかった、大峠です。よろしくお願いいたします。

さて、昨年5月にコロナの分類が5類になり、コロナ前への教育活動を求められた令和5年度をうけて、感染症の感染拡大防止を意識しながら教育活動を引き続きより良いものに進めていきたいと考えています。この間得た、新しい授業や会議様式を引き続き実施していきたいと考えています。



学校は常に、子どもたちや保護者、地域の方々から安全で安心のできる場所であることが期待されております。その期待に応えるために、常に何ができると考え続けなければなりません。教育公務員として、ふさわしい対応が常に求められています。また一方では、子どもたちの「信頼される学校」としての学校力、特に教育力の向上という永遠の課題も課せられています。

専門性の向上という使命遂行にあたって、医療的ケアを含む個々の児童生徒への適切な支援方法を第一に、また、授業力向上への努力をお願いしたいと思います。また、学校の透明性を担保するために、その内容を学校 web、研究紀要、学校だより、学年だより、学級だより等、機会あるごとに発信していきたいと思っております。

また、時代に即した動きが府民から求められており、訪問教育の充実や不登校児・生徒対応、共同・交流学习をはじめ障がいのある人の社会参加の支援も重要な責務であると考えております。特に Web コンテンツを使った新しい生活様式の対応が強く求められています。今の時代の流れに流されえることなく、将来を見据えた計画的な学校運営が必要であると思っております。また、訪問教育児童生徒のスクーリング時の保護者付き添いや人工呼吸器装着児童生徒の引継ぎ等の保護者負担の課題が散見されます。引き続き、今の時代に合った協力体制の構築を模索していきたいと思っております。

近年、児童・生徒、保護者や社会の needs もとても速いスピードで変化してきています。本校の児童・生徒のみならず、地域に居住されている支援の必要な児童・生徒の社会的自立へ向けた教育、また、本校児童生徒の QOL のみならず、保護者の QOL を踏まえながら、今後、本校児童生徒が地域で生き生きと生活できる土壌を醸すのが本校の大きな使命であると認識しております。

それらの使命に対応できるように、本校では以下の学校経営方針を示させて戴きます。

- ①個々のニーズと障がい特性に応じた支援を行う専門性のある実践
- ②社会自立をめざし、小学部段階からキャリア教育（よりよく生きる力の育成）

の実践

小学部：自己表現と表出を豊かに・友だちを意識する

中学部：友だちと一緒に生き生きと活動する

高等部：より良い自立をめざし、働く意欲やそれぞれのキャリアを育成する

- ③校内支援充実と共同・交流学习の充実

この学校経営方針を本校教育活動に生きた形で落とし込むために、今年度も合言葉は、

「**個々の子どもに応じた支援と教育実践の追求!**」を提示させて戴きます。教職員が個々の子どもたちの課題を共有し、キャリアマトリックスに紐づいた課題設定を行い、子どもたちが学校に来るのが楽しいなあ。こんなこと（仕事）したいなあ。毎日頑張るのってしんどいけど楽しいなあ。友だちと頑張ってたなあ。というような働くことや努力することを理解すること、働き続ける努力するモチベーションを持続できる強い心と体の育成を行います。

また、この地域の各支援学校や関係機関との連携・協力体制を整えながら、支援教育の更な

令和6年度 Web 校長挨拶

る充実と発展をめざしてとりくんでいきたいと考えております。みなさまのご理解とご協力を
どうぞよろしくお願いいたします。学校改善にかかるご意見等もお待ちいたしておりますので、
忌憚なくいただければ幸いです。

令和6年4月1日
大阪府立茨木支援学校 校長 大峠 貴弘